

情報科コラム第2回 スマホカメラやデジカメの画質のお話

今回は、科目「社会と情報」の2回目のスクーリングで行った、画像のデジタル化についてのお話です。

スクーリングでは、画素が多いほど画像はきめ細くなるというお話をしましたが、写真においては、高い画素数のカメラで撮影する＝きれいに見える、とは必ずしも言えないのです。というのも、デジタル写真の画質には、

- ・レンズ
- ・イメージセンサー（レンズを通して入ってきた光を受け止める、いわゆるフィルムの役割）
- ・画像処理エンジン（イメージセンサーで受け止めた光から画像ファイルを作成する）

という3種類の要素が関係してくるからです。

一般的には、レンズやイメージセンサーは大きい方が良く、画像処理エンジンは最新のものが高性能で良いとされています(少し暴論かもしれませんが)。もちろん、画素数は多いに越したことはないのですが、2L版以上の印刷にも十分耐えられる1000万画素超えのカメラが当たり前になっている昨今では画素数にこだわるより上記の3要素を重視した方がいいかもしれません。スマホやデジカメのカタログを見ると、レンズとイメージセンサーの大きさが書かれていることが多いです(画像エンジンの性能はわからないこともあります)。新しいスマホやデジカメを買う時の参考にしてみてくださいはいかがでしょうか。